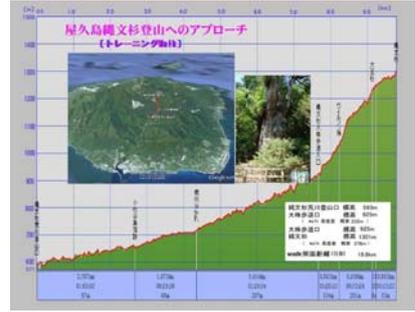


早春の比叡山きらら坂・六甲周辺を歩く 2014. 4. 5.



《屋久島 縄文杉ハイクのためのトレーニングハイク》

1. 京都雲母坂を比叡四明ヶ岳へ	2013. 2. 23.	2. 布引谷から天狗道を摩耶山へ	2013. 3. 2.
3. 菊水山から鍋蓋山 天王谷大吊橋	2013. 3. 5.	4. 雌岡山・雄岡山早春の梅林ハイク	2013. 3. 16.
5. 三宮から油こぶし道を六甲山へ	2013. 3. 17.	6. 武田尾/宝塚 武庫川渓谷廃線歩き	2013. 3. 23.



京都高野川から見る比叡山 2013.2.23. 雌岡山の梅林から眺める雄岡山 2013.3.16 神戸三宮から眺める布引谷と摩耶山 2013.3.2

大学時代の山仲間から、屋久島合宿をこの四月にやろうとの案内。一度は是非とも見たかった念願の屋久島縄文杉ツアーに是非参加したいと。夫婦で参加して屋久島を歩く仲間も数組あると聞いて、家内も「是非 縄文杉をみたい」と。

縄文杉ツアーの行程を調べると、朝5時ごろ出発して、渓谷沿いの長いトロッコ道を歩いて、そこから縄文杉まで登る。高低差約700m 往復20kmの長距離Walk。

「今年は古希 70にもなる」とも思うのですが、「やっぱり縄文杉まで行きたい」

「毎週六甲を歩いてトレーニング 縄文杉までの登りは根性 道は長いが行ける」と近くの知人に聞いてきた家内も俄然 張り切って、この3月 好日山荘に通いながら六甲周辺の山を歩きました。

トレーニングもさることながら、早春の山や山里の景色は心地よい。スタートに選んだ比叡きらら坂はまだ残雪が一杯の雪道 そして 梅の花が咲き、溪流のお供軽やかになって 桜の花もちらほらもともと、今年は霞が濃くて 稜線からの遠望がもうひとつ。

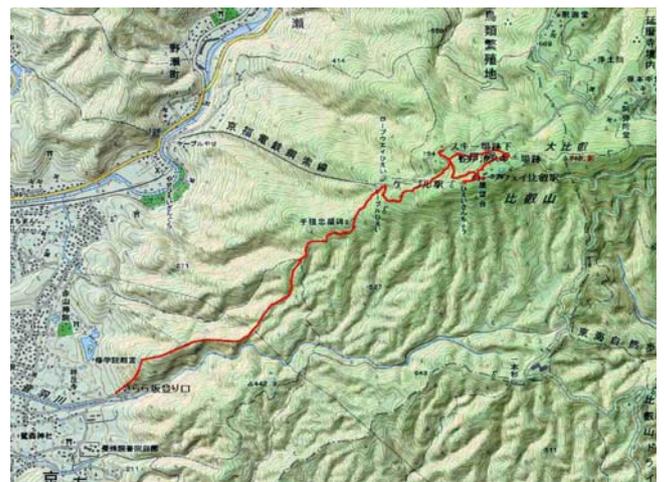
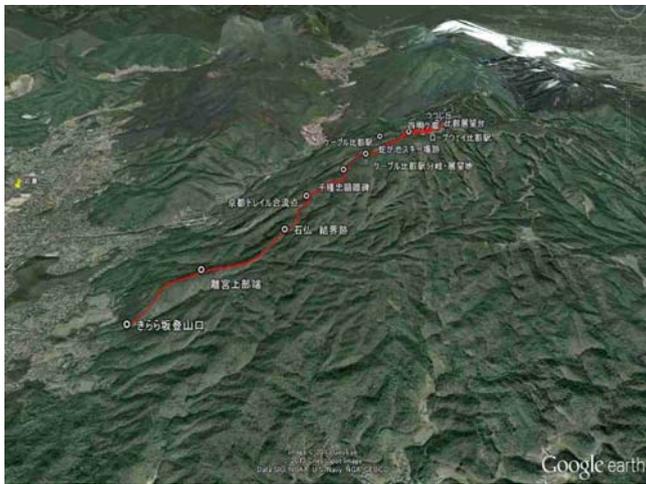
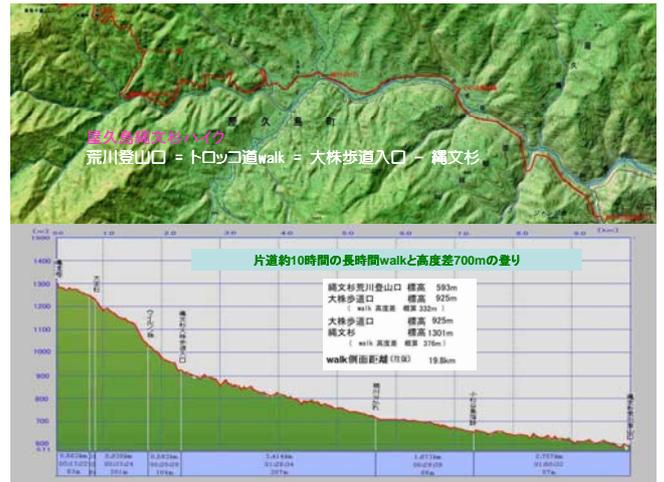
毎週のハイク しんどいかなあ・・・と思いましたが、気分爽快の早春ハイク。花粉症も山に入ると忘れてしまって思いもよらぬうれしい役得。やっとなら 縄文杉まで歩けるかなあ・・・と。

まあ 行き着けそうになかったら 途中でひきかえせば・・・と気楽に春の山歩きを続けています。

2月末から3月まで 6回のトレーニングハイクをPDF 写真アルバムにまとめました。



三宮から油こぶし道を六甲山へ 武田尾/宝塚 武庫川渓谷沿い廃線歩き 菊水山から鍋蓋山へ 天王谷吊橋を渡る





雲母坂 登り口 鷲森神社 京都市左京区修学院宮ノ輪町15
 比叡山へ雲母坂の道筋。比叡山南西麓、東山に登る殊なる音羽川、一条寺川に挟まれた地にある閑静な森と美しい参道がある神社。今から約1100年あまり前の貞観年間に創建され、かつては修学院離宮の山林にあったという修学院離宮ゆかりの古社で、祭神は八坂神社と同じ素戔嗚尊素戔鳴尊。比叡山麓七里修学院、山麓一帯の氏神社のひとつで、牛頭天王、また關隘天王(天皇)(しゅだてんのつ)を祀り、(「拾遺都名所図会」)修学院村天王社、修学寺の天王とも呼ばれた歴史ある神社。閑静な境内には、荘厳な本殿のほかには離宮にゆかりの石碑や坐佛があり、桜や楓、紅葉の美しい参道は散策に最適。



南側にある豊珠院の正面まで寄り道 2013.2.23.



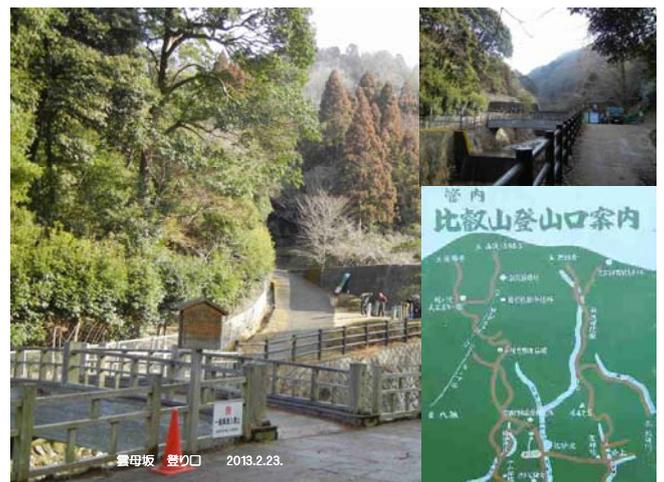
鷲森神社から 東へ豊珠院備へ坂を登ると左 雲母坂 右豊珠院のT字路



豊珠院の横から北へ森に入ると雲母坂の解説案内板があり、この森を抜けると比叡山南麓を西へ流れ下ってくる小さな溪流、音羽川の岸に出て、川に沿って遊歩道が整備されている、このすぐ東 上流側が雲母坂の登り口である

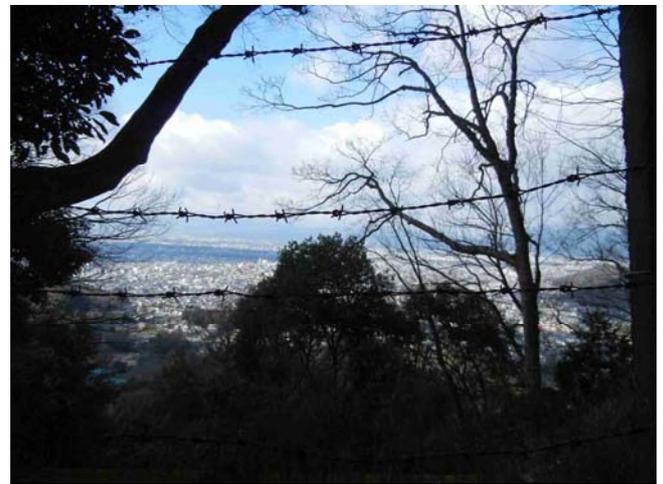
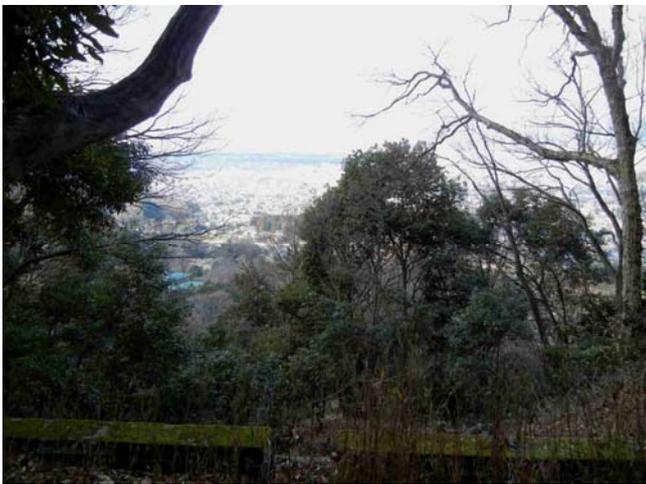


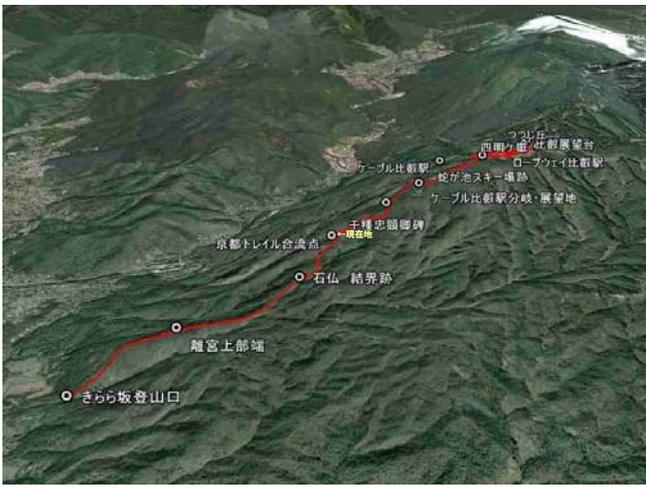
右 雲母坂 左 豊珠院のT字路 鷲森神社から登ってきた坂道角 2013.2.23.



雲母坂 登り口 2013.2.23.







交差点周辺 送電鉄塔の横から眺める京都・宝ヶ池市街地が西側正面に眺められる 2019.2.23.

ここまで登ってくると数日前の寒さから、融かぬ部分に雪が残っている
京都トレイルとの合流点 [こちら](#)



思わぬ雪道 ラッキー すべらぬよう雪の感触を楽しむ 2019.2.23.



林の中に入るともう真っ白。慣りが心配になるが、スティックも持っているので、行けるところまで登る。 2013.2.23.



八瀬ケーブル比叡駅への分岐・展望台周辺の林の中。 2013.2.23.



更に雪が深くなった林の中。ロープウェイの索道をくぐるとまもなく龍池のスキー場跡。 2013.2.23.



東山連峰の右手に京都市街地
正面には松ヶ崎・宝ヶ池の集落
↓京都駅・タワー ↓修復中の東本願寺 ↓御所
↓岡崎界限 ↓神楽が岡 ↓吉田山・京大



森を抜けると西に視界が開けた展望台。南西側に京都の市街地が一望。 2013.2.23.
中央を左から右へ臨川 | 京都駅界限から御所周辺まで | くっきりと通望できました





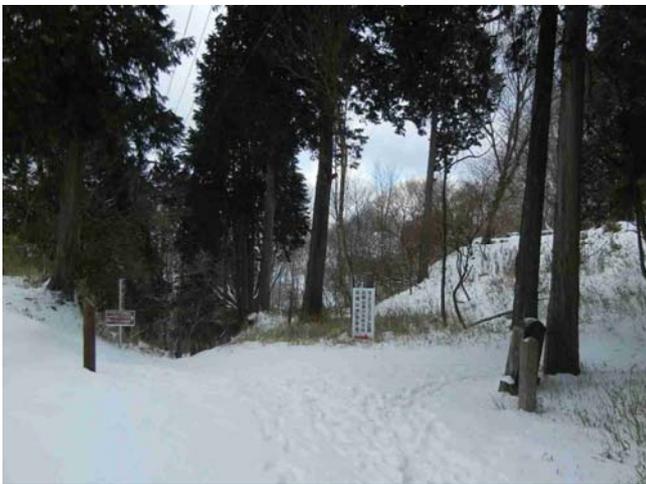
始が池スキー場跡から 四明山の頂上部の展望台 右側にロープウェイ駅 2013.2.23.
この山の向こうは琵琶湖側-延暦寺がある



リフトが伸びる四明山の頂上部の展望台が見える 2013.2.23.



スキー場跡をハイパーステップして 北西斜面 つつじが丘から頂上へ 2013.2.23.
広い車道がドライアイスから覆ひ、凍結防止のためには雪かき機、ケーブル・ロープウェイドライ
ブウェイ、9ヶ所冬等化装置、1ヶ所凍結防止装置、また大雪の中、
50mの高さの塔に上って見ると、



つつじヶ丘から西側の展望 2012.2.23.



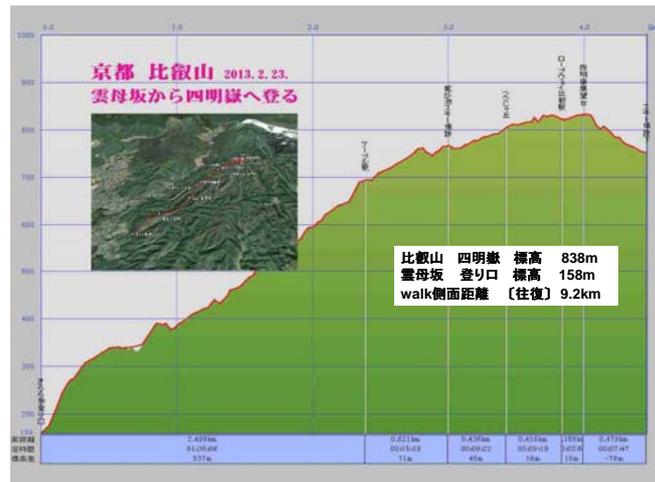
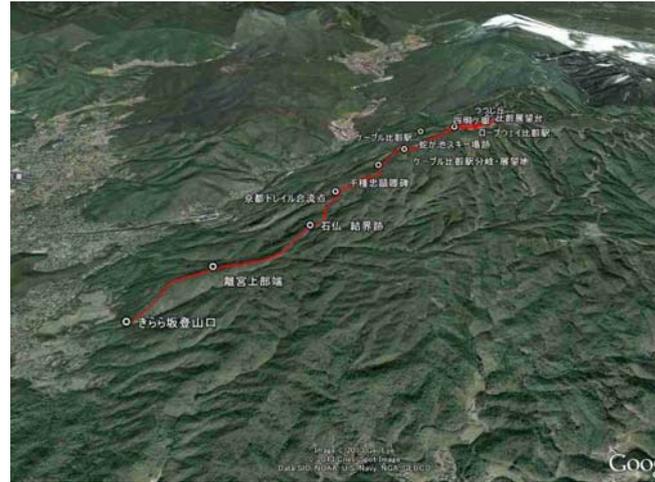
西側の展望 八瀬の里 山中に京都産業大? の建物が見える 2013.2.23.



山上は雪に覆われ、公園の入り口は施錠され、戻って
ないと向こう側へは行けなかった 2013.2.23. 琵琶湖側へまわりこま



行楽シーズンには賑わう場所であるが、雪の中、琵琶湖側の阪本ケーブルドライブ ウエイの
バスも休止とわかって、やっぱり、雪母坂を下りることにして、四明山頂上へ 2013.2.23.





布引谷 布引の滝「雄滝」 2013.3.2.



布引谷 布引の滝「雌滝」 2013.3.2.



布引谷 五本松堰堤 隠れ滝 2013.3.2.



夏には木陰になってよく見えぬこの角度の姿がよく見える 雌滝 2013.3.2.



布引谷
布引ダム 五本松堰堤
2013.3.2.



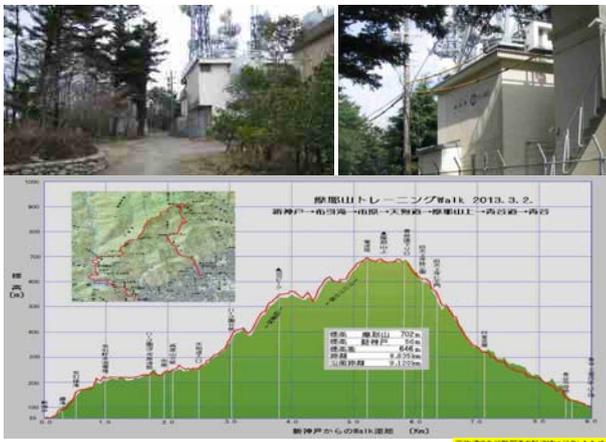
布引谷 五本松堰堤 隠れ滝 2013.3.2.



市原の崖にいた猪 2013.3.2.



布引ダム湖の奥 市原 2013.3.2.



大物までのお散歩を軽装時に海側上りのためインターネットよりお借りしました。
<http://www.hokkaido-nature.com/mtmanji/> 参考より



コロコロ坂を登りきり 階段道になると摩耶山頂上はもう近い 2013.3.2.

大物までのお散歩を軽装時に海側上りのためインターネットよりお借りしました。
<http://www.hokkaido-nature.com/mtmanji/> 参考より



東北 ←東 摩耶山上からの展望 2013.3.2. 南西→



南東側 神戸の市街地から六甲アイランド



北側 六甲山牧場から六甲山上 南西側 神戸の中心市街地とを奥ポートアイランド

摩耶山上からの展望 2013.3.2.



摩耶山山上 観音堂 2013.3.2.



観音堂からの展望 摩耶山上 ロープウェイ駅と電波塔 2013.3.2.



神戸 三宮から眺めた六甲の山並 菊水山~六甲山 2013.3.5.



観音堂からの展望 神戸の東部市街地 神戸製鋼の向こうに 六甲アイランド遠望 2013.3.2.



観音堂からの展望 神戸の中心市街とポートアイランド 2013.3.2.



摩耶山頂上より 青谷道を下る
2013.3.2.



Google earth



青谷道 行者茶屋周辺 2013.3.2.



青谷道 旧摩耶山天上寺の古い階段 2013.3.2.



青谷道 谷沿いを青谷へ下ってゆく 2013.3.2.



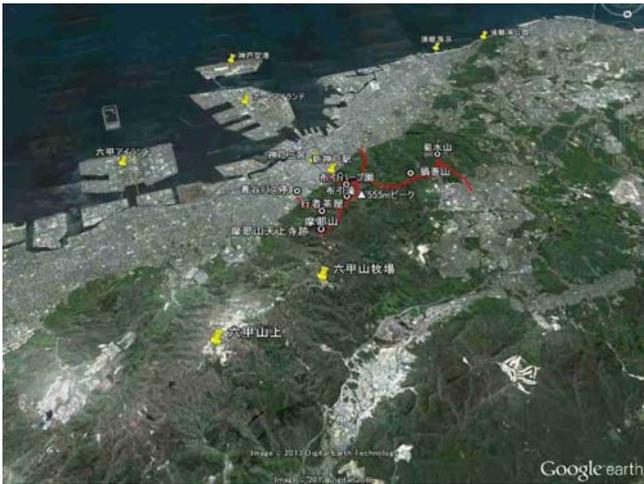
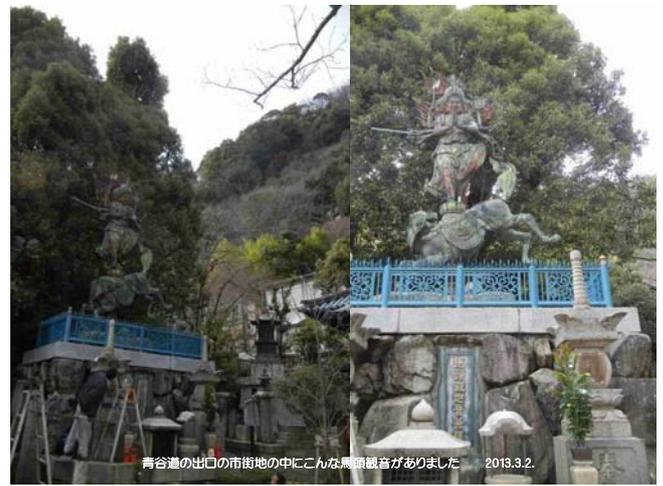
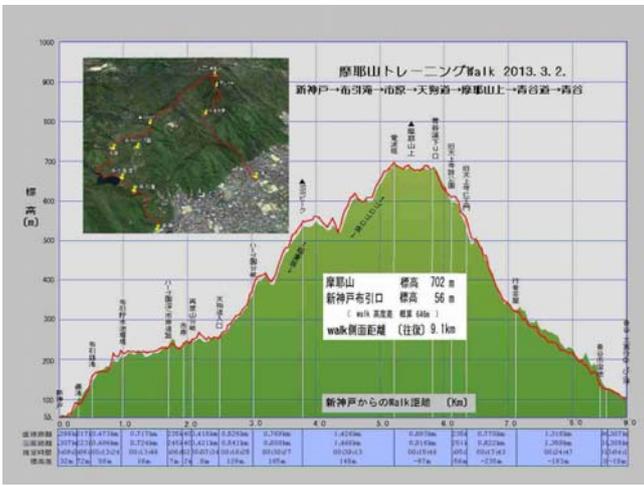
青谷道 谷沿いを青谷へ下ってゆく 2013.3.2.

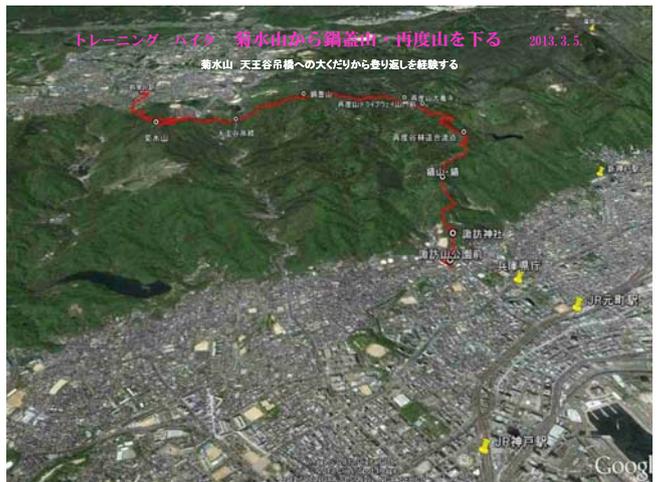
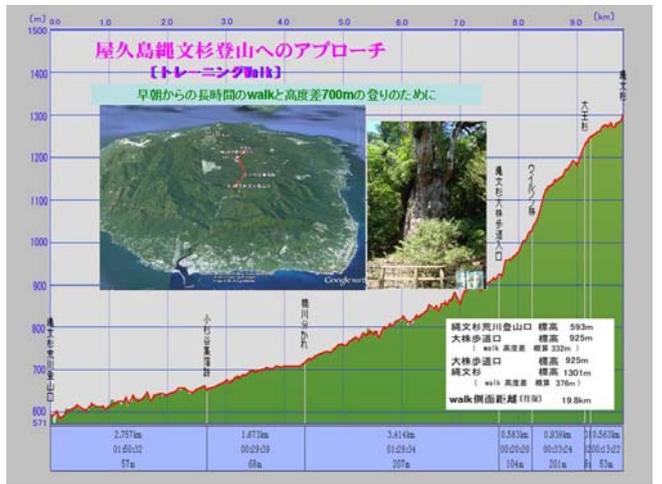
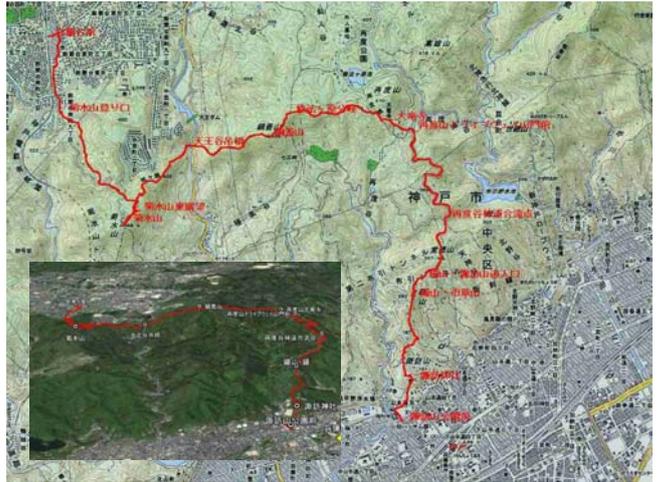
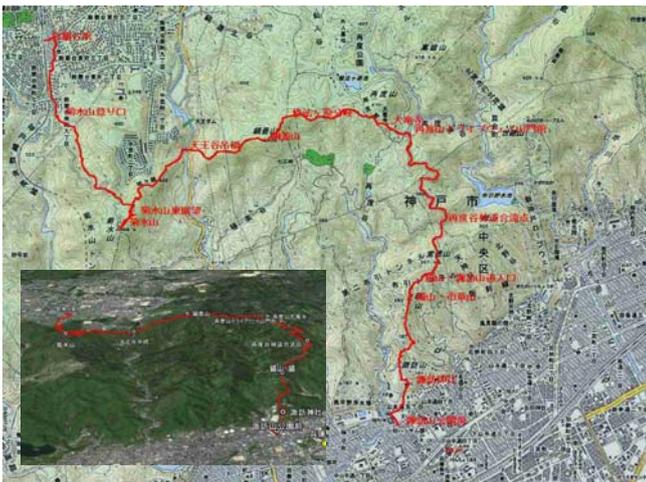
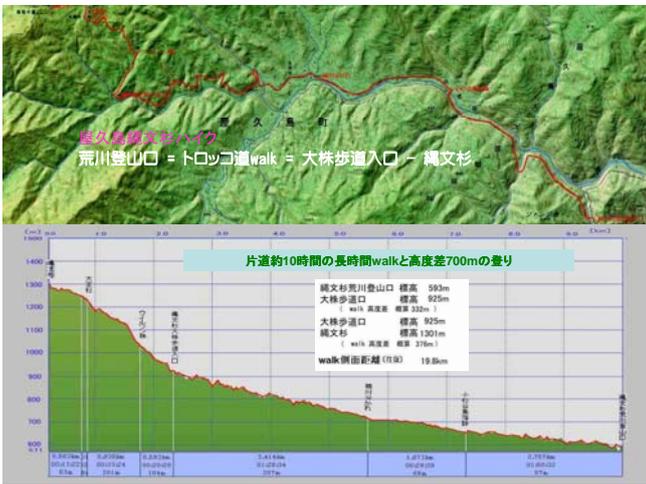
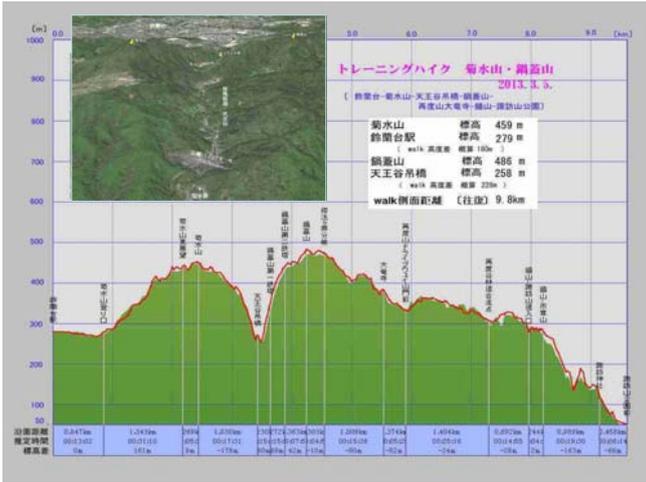
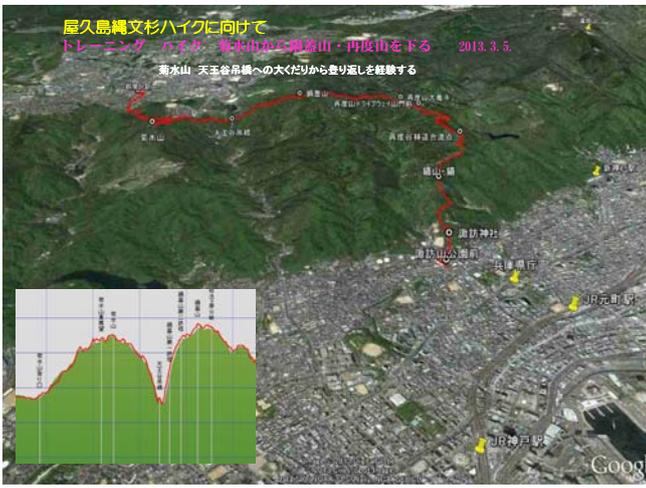


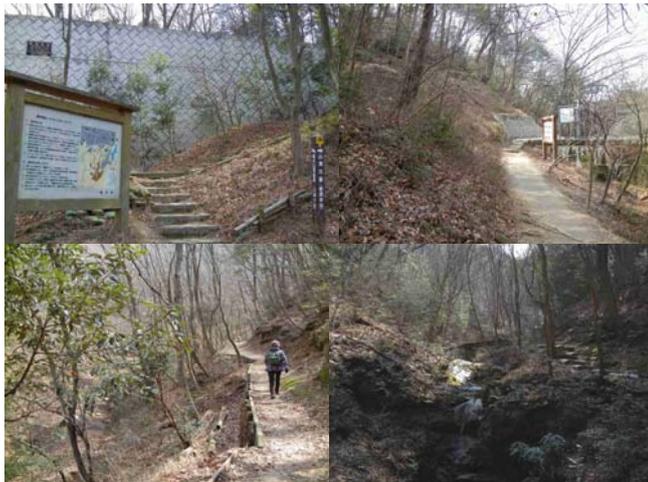
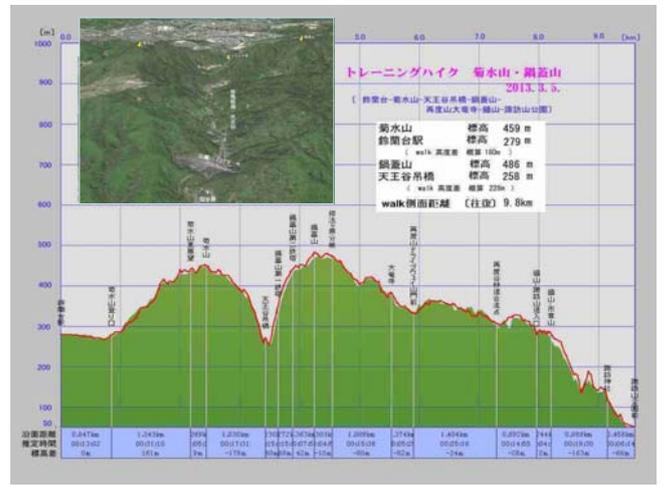
青谷道の終わり 市街地の奥に海が見えてくる 2013.3.2.



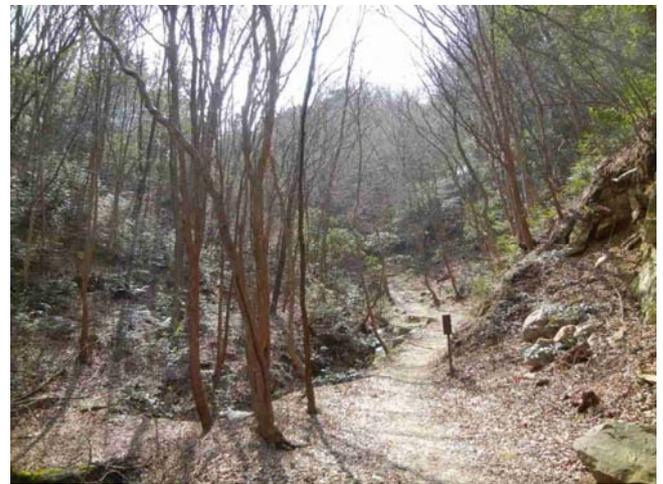
青谷道 谷沿いを青谷へ下ってゆく。観光茶園が出てくるともう市街地 2013.3.2.







NTTの敷地の中を行く鈴蘭台登り口 2013.3.5.





菊水山 山頂 2013.3.5.



菊水山頂上部 北の丘展望台から東側の展望 2013.3.5.



春霞の中に浮かび上がる神戸の町並み遠望 2013.3.5.



空気の澄んだ青空の夏には こんな風に神戸の市街地がみえるのですが……



菊水山からの眺望 北西側の鈴蘭台の街遠望 2013.3.5.



南西側 丸山・高取山・横尾山・旗塚山から明石海峡へと通なる六甲の西部連山 2013.3.5.



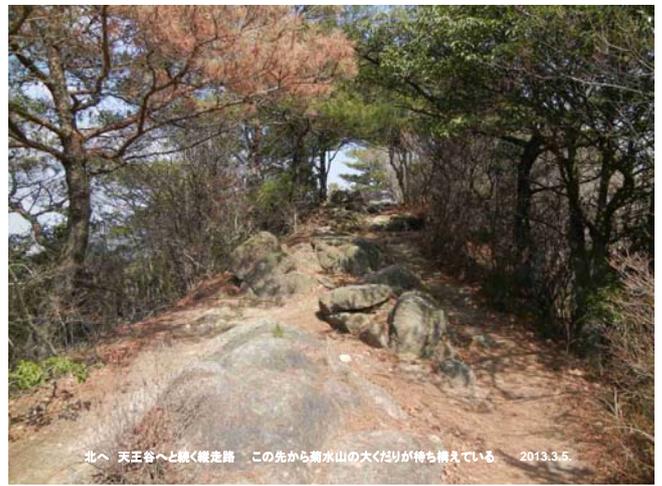
北へ向かう縦走路の右手 樹木の切れ目からはこれから向かう鍋釜山の大きな山体が見える 2013.3.5.



菊水山から縦走路を北上各府県へ
菊水山から北へ 鍋釜山への縦走路 鈴蘭台への道との分岐周辺 2013.3.5.



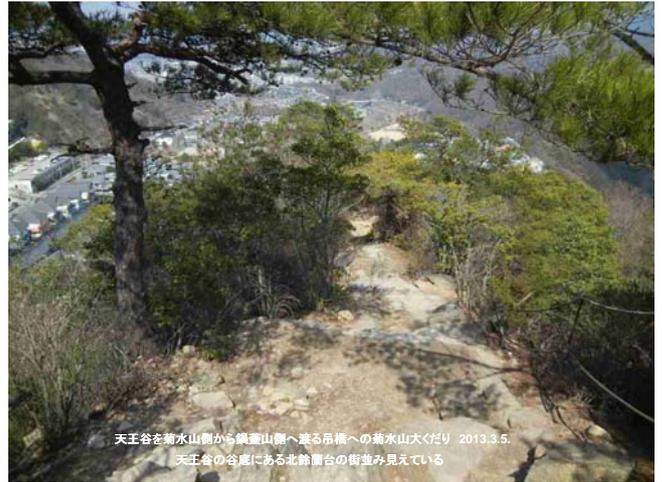
天王谷を菊水山側から鎮霊山側へ渡る吊橋への菊水山大くだり 2013.3.5.



北へ 天王谷へと続く軽走路 この先から菊水山のくだりが特も構えている 2013.3.5.



天王谷を菊水山側から鎮霊山側へ渡る吊橋への菊水山大くだり 2013.3.5.



天王谷を菊水山側から鎮霊山側へ渡る吊橋への菊水山大くだり 2013.3.5.
天王谷の谷底にある北鈴蘭台の街並み見えている



天王谷吊橋への菊水山大くだり 谷の中を北へまっすぐ走る青真街道が見え隠れ 2013.3.5.



吊橋から直登する登山道が通る上下の送電塔が見える堂々とした鎮霊山 2013.3.5.



谷底がどどん近づき、池の横を通過するときの先が吊橋 2013.3.5.



天王谷を菊水山側から鎮霊山側へ渡る吊橋への菊水山大くだり 2013.3.5.



天王谷を渡る大吊橋 2013.3.5.



有馬街道から見上げる天王谷吊橋
インターネットより採取



東 鍋蓋山側

西 菊水山側

北 鍋蓋山側

天王谷を渡る大吊橋 2013.3.5.

南 平野側

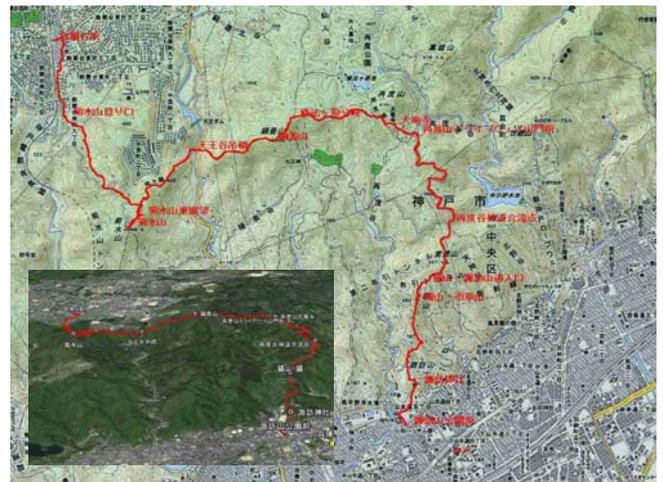


天王谷の中西を南から北へ有馬街道が走る 2013.3.5.



天王谷吊橋から鍋蓋山へ

吊橋の東端から鍋蓋山への直登の急坂が始まる 2013.3.5.

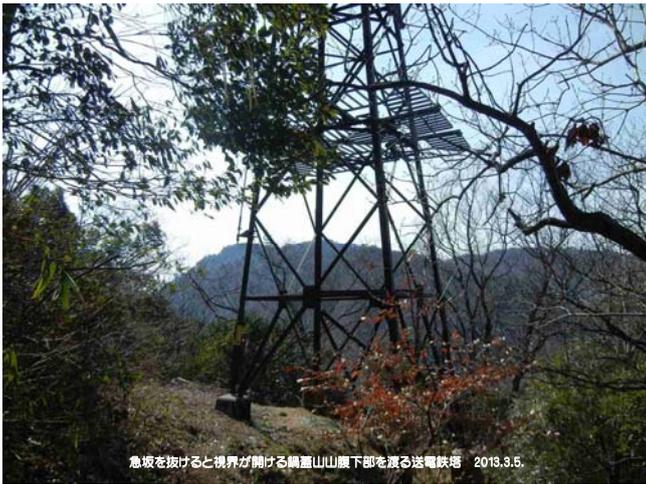




鍋蓋山への縦走路 直登の急坂 2013.3.5.



鍋蓋山への縦走路 直登の急坂が始まる 2013.3.5.



急坂を抜けると視界が開ける鍋蓋山山腹下部を渡る送電鉄塔 2013.3.5.



鍋蓋山への縦走路 直登の急坂 2013.3.5.



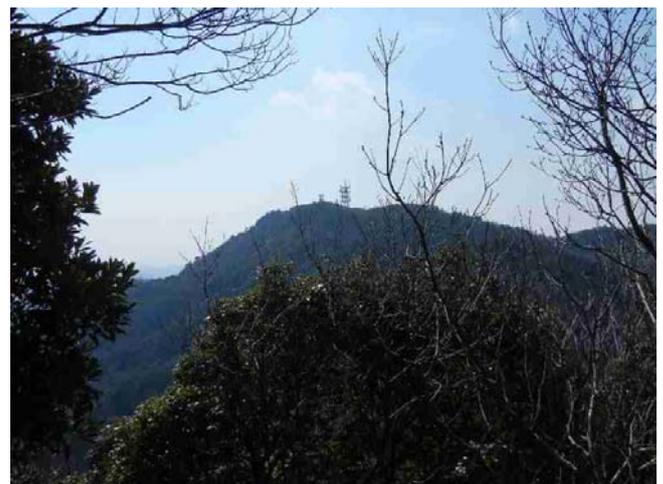
下部の鉄塔からは、また 樹林帯の中の登りが続く 2013.3.5.



山腹下部の送電鉄塔からは西に菊水山がよく見える 2013.3.5.



樹間から天王谷ダムと北鈴蘭台の街並みがちらっと見える 2013.3.5.





山道の中も明るくなり、頂上が近い 2013.3.5.





林の中の縦走路を大竜寺へ 2013.3.5.



再渡山 大竜寺 2013.3.5.



縦走路 再渡公園・修法ヶ原への分岐周辺 2013.3.5.



再渡山 大竜寺 2013.3.5.



縦走路 再渡山・修法ヶ原への分岐 2013.3.5.



縦走路 再渡山・修法ヶ原への分岐周辺 2013.3.5.



再渡山 大竜寺 2013.3.5.



再渡山 大竜寺 2013.3.5.



再度林道合流点周辺から眺める常水山・縮山 2013.3.5.



再度林道合流点周辺から ドライブウェイ沿いの山道を歩く 2013.3.5.



大電寺山門前から再度山ドライブウェイを縮山へ下る 2013.3.5.



縮山からの展望 2013.3.5.



神戸のシンボルマーク「縮」



神戸 縮山・市電山
インターネットより



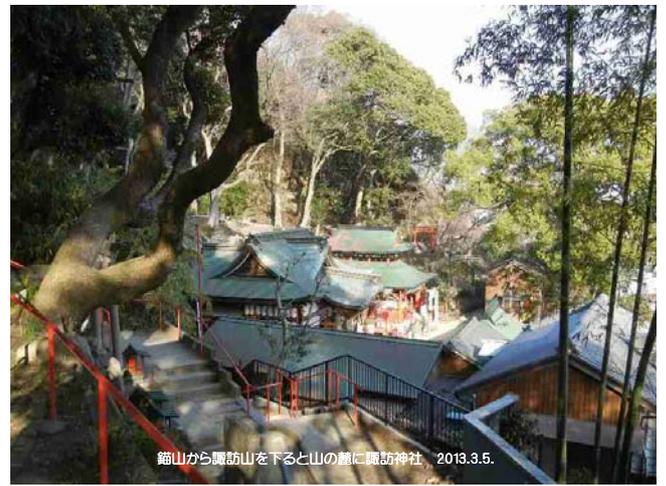
縮山から眺める神戸中心市街地 2013.3.5.



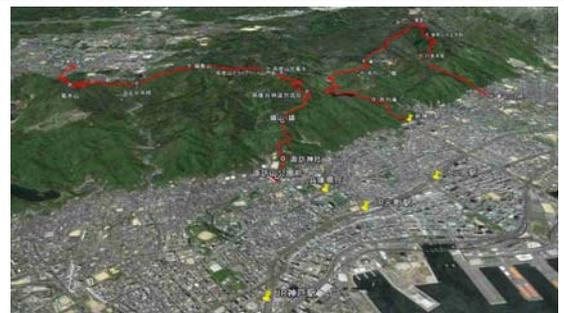
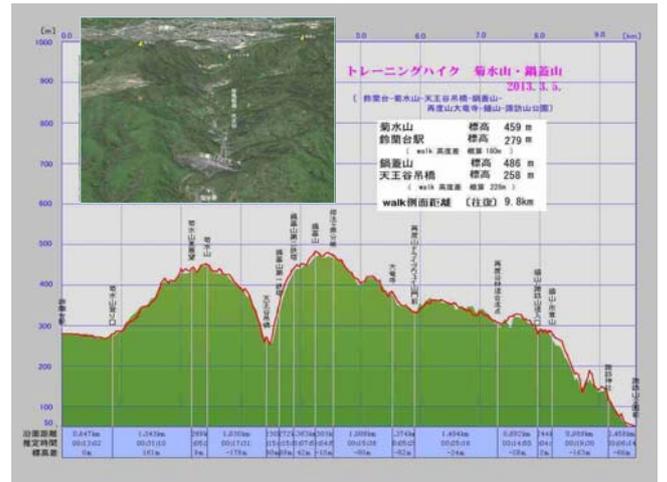
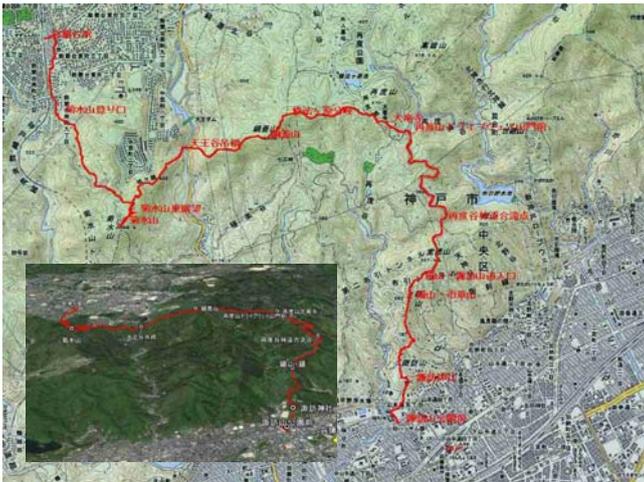
神戸のシンボルマーク「縮」

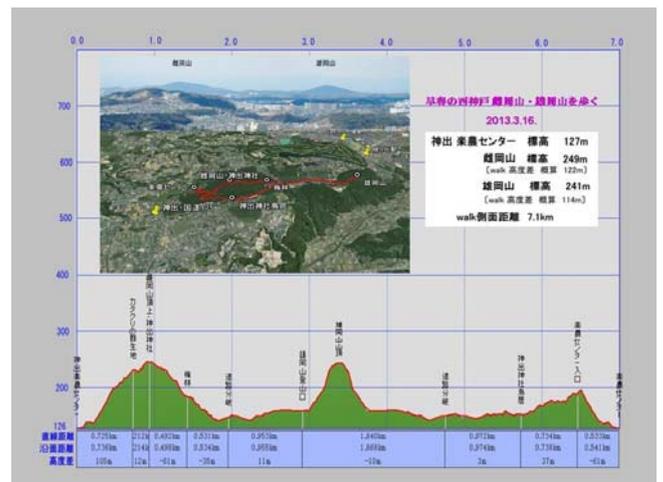
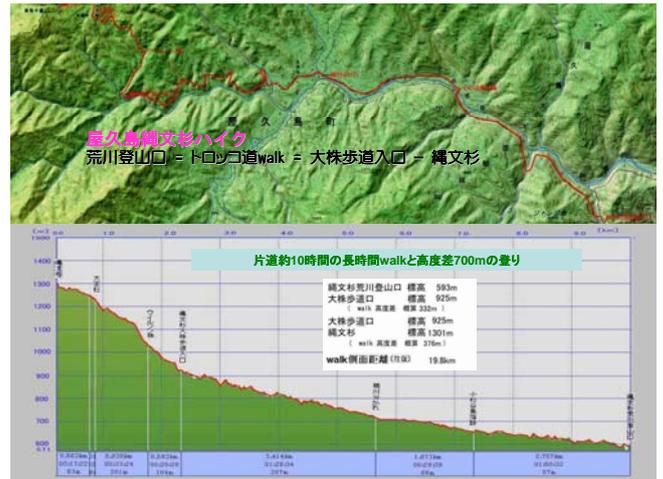


観音山公園前 2013.3.5.



鍋山から観音山を下ると山の麓に観音神社 2013.3.5.







「かんでかんで」の梅林の横を麓岡山へ登るハイキング路 2013.3.16.



麓岡山北西山館 「かんでかんで」 2013.3.16.



麓岡山北西山館 兼農センター「かんでかんで」の梅林 2013.3.16.



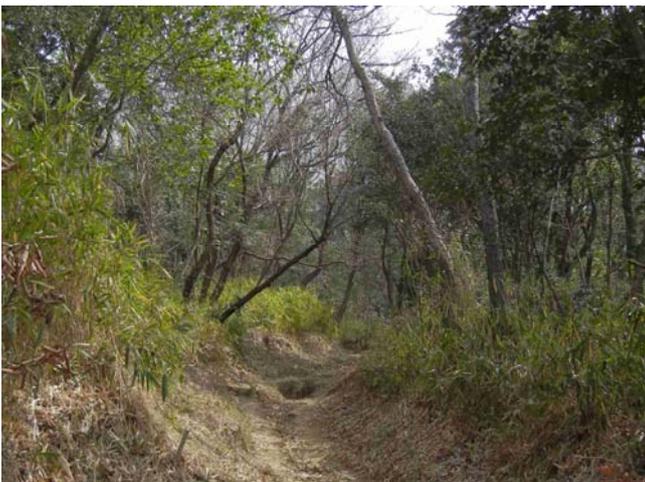
「かんでかんで」の梅林の横を麓岡山へ登るハイキング路 2013.3.16.



すぐ横の神出学園 麓岡山への散策路で 2013.3.16.



足元の草地には春の草花 2013.3.16.



梅林を抜けると麓岡山への散策路 2013.3.16.



山頂すぐ下の北西斜面にあるカタクリの群生地(寛成)
カタクリはもう芽をだしているだろうか??? 2013.3.16.



雨の鳥居から山頂神出神社へと続く参道に出て山頂へ 2013.3.16.



カタクリはまだ土の下でも今年も可憐な雪割り草が咲いていました



雪割り草 雌岡山で 2013.3.16.



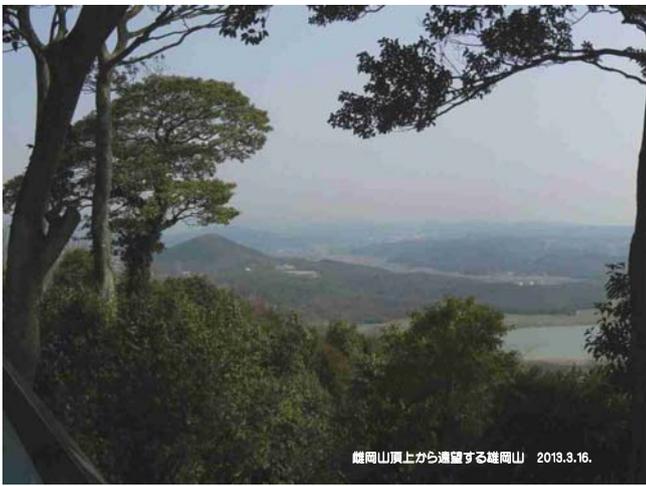
雪割り草 雌岡山で 2013.3.16.



雌岡山山頂 神出神社 2013.3.16.



雌岡山山頂 神出神社 2013.3.16.



雄岡山頂上から通望する雄岡山 2013.3.16.



頂上から東へ下って行くと斜面には今満開の梅林 2013.3.16.



香曇の明石海峡 通望 正面奥 ラッパと波路島がみえる 2013.3.16.



雄岡山梅林で 2013.3.16.



雄岡山梅林で 正面に雄岡山が見える 2013.3.16.



金樽池横 雄岡山東側からの登り口 2013.3.16.



雄岡山梅林で 2013.3.16.



雄岡山に登る

雄岡山登り口入口 2013.3.15.



金棒池の向こうに雄岡山 2013.3.16.



雄岡山登山道入口 2013.3.16.



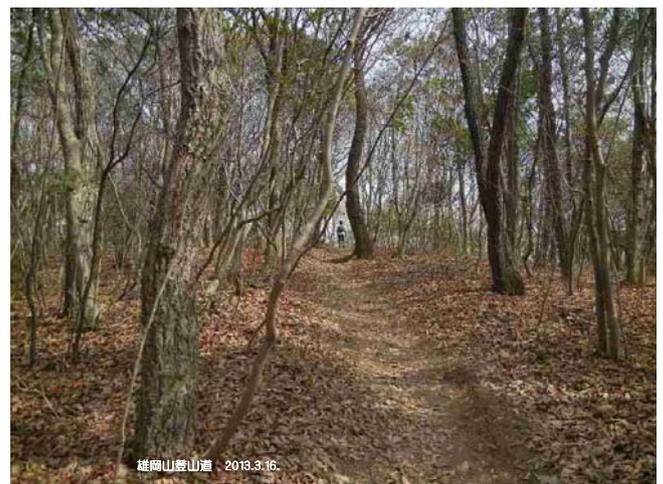
雄岡山登山道 2013.3.16.



雄岡山登山道 2013.3.16.



雄岡山頂上 東側 明石海峡方面の展望がぱっと開ける 2013.3.16.



雄岡山登山道 2013.3.16.



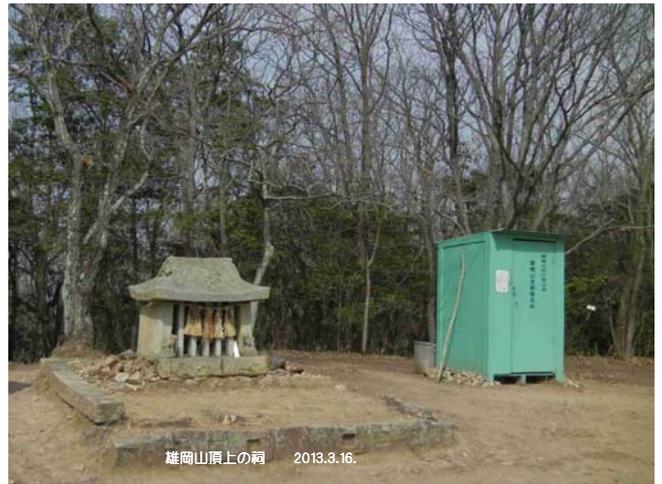
雄岡山頂上 南から登ってきた道 2013.3.16.



雄岡山頂上 東側 明石海峡方面の展望がぱっと開ける 2013.3.16.



雄岡山頂上 北の三木市緑ヶ丘へ下る道 2013.3.16.



雄岡山頂上の祠 2013.3.16.



雄岡山の南東側には頂上から切れ落ちた水晶谷
この水晶谷では、かつて、氷碛がいたる所で採取できたという
雄岡山では、古代はかにも数々の風物資源が採取されたとい
この地が氷碛は氷碛がその風物資源になったのも何れぬ
この水晶谷が合わさるのは狸野谷、置鉄の民、奈良忍海峽の展開地であることもうなづける



雄岡山頂上 2013.3.16.



雄岡山の南東側 頂上から切れ落ちた水晶谷 ロープのあるくだり道 2013.3.16.



雄岡山の南東側 頂上から切れ落ちた水晶谷 ロープのあるくだり道 2013.3.16.



雄岡山の南東側 頂上から切れ落ちた水晶谷 2013.3.16.



雄岡山の南東側 頂上から切れ落ちた水晶谷 2013.3.16.



雄岡山-雌岡山の山裾を楽農センターへ戻る

雄岡山頂上からも来た道を引き返し、山裾を雌岡山 神出神社鳥居前へ 2013.3.16.



雄岡山山中で こんな赤い土もみつけました 2013.3.16.



雌岡山山頂 神出神社参道 鳥居前 2013.3.16.



雄岡山 神出神社鳥居前へ 山裾を巡る道で 2013.3.16.



楽農センター「かんでかんで」入口から見る雌岡山 2013.3.16.

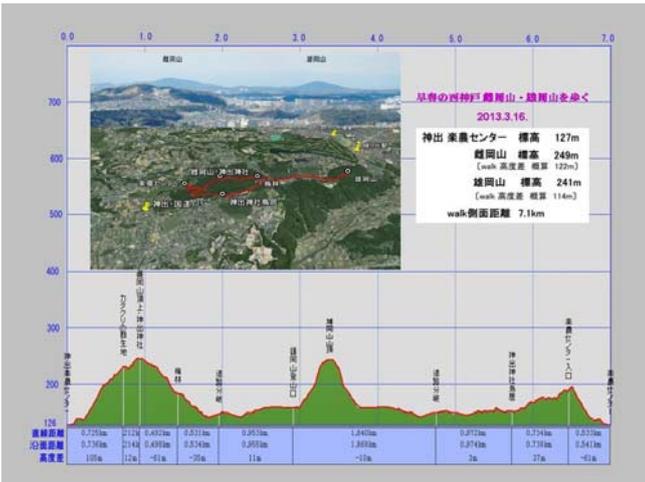




楽農センター学習農場から見る雌岡山 2013.3.16.



楽農センター学習農場から見る雌岡山 2013.3.16.



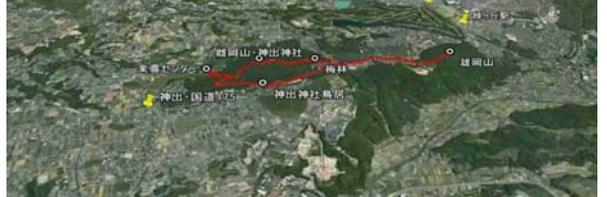
早春の西神戸 雌岡山・雄岡山を歩く
2013.3.16.
神出 楽農センター 標高 127m
雌岡山 標高 249m
雄岡山 標高 241m
walk 距離 7.1km



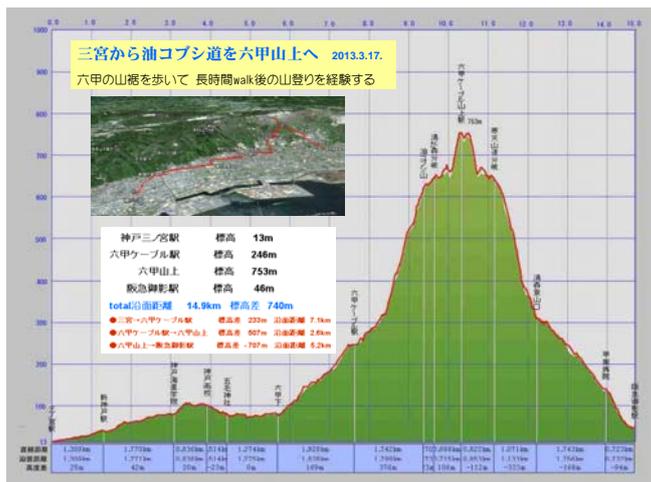
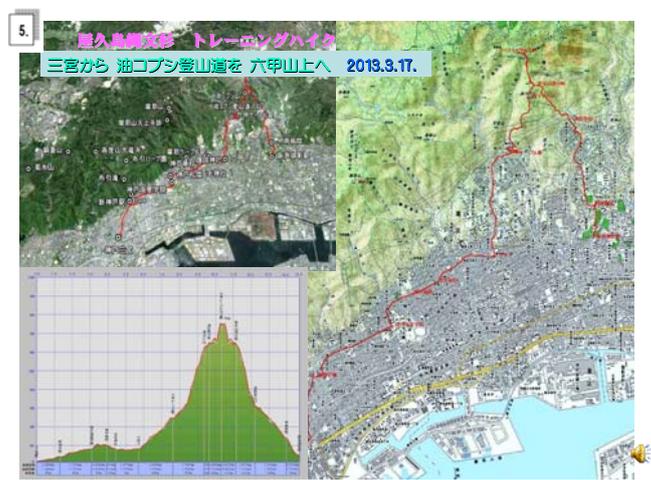
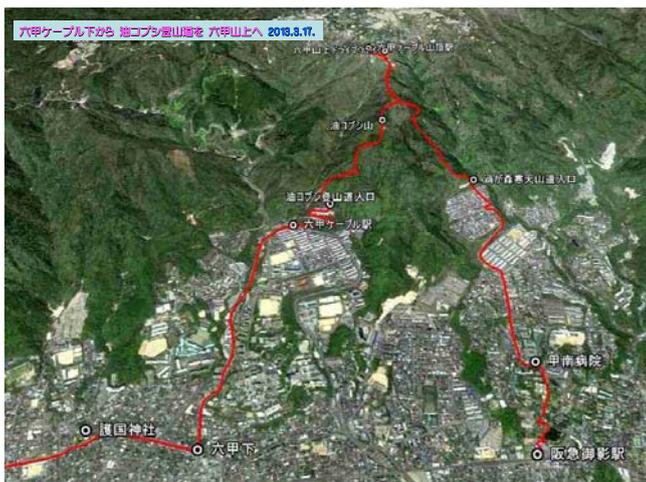
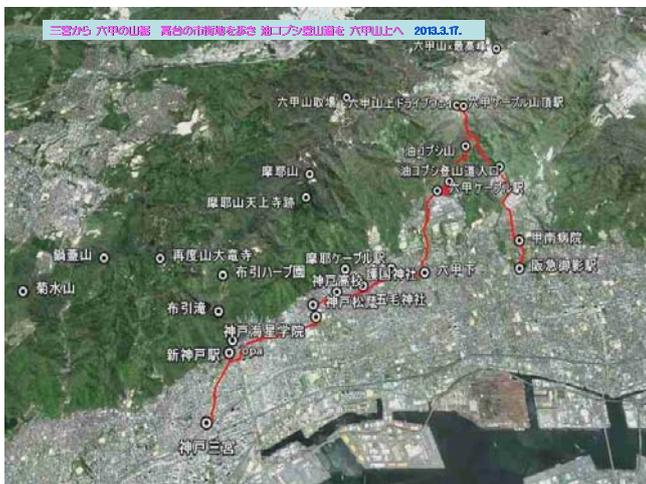
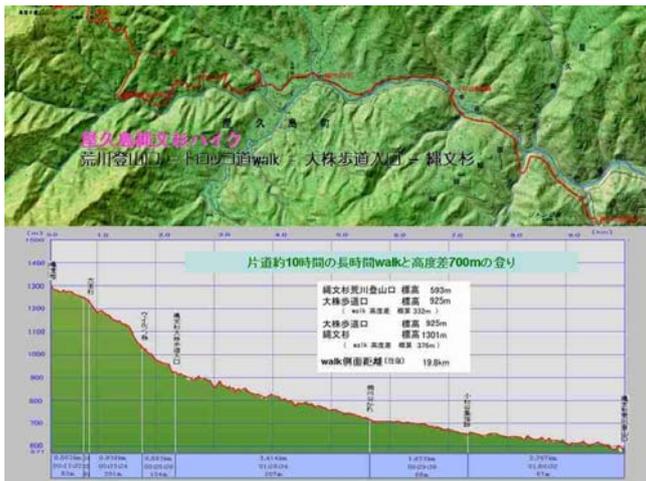
楽農センター学習農場から見る雌岡山 2013.3.16.



縄文杉トレーニングハイク
早春の西神戸 雌岡山・雄岡山を歩く 2013.3.16.
新しく購入したシューズや靴などでもらった アドバイス チェック
《 おしごと 》



楽農センター学習農場から見る雌岡山 2013.3.16.





三宮から六甲ケーブル駅まで 六甲の山麓 高台の街を東へ

三宮→新神戸→《阪急六甲行のバス道(熊内・青谷・篠原・六甲下(六甲登山口))→鶴甲・六甲ケーブル駅へ

三宮から六甲ケーブル駅のすぐ横から始まる「油コブシ六甲登山道」へ約7km 六甲の山麓に広がる高台の市街地を東へ走る「阪急六甲行」のバス道を歩く。この道筋は山麓の高台に広がる市街地を幾つも谷筋を渡って東へ延びる道で、夕rosして一気に海岸部へ延びる坂道や谷川が幾つもつながっている「坂の町神戸」を象徴する道のひとつでもある。

また、この道筋には 数多くの高校や大学が建ち並ぶ神戸山手の(学園ロード)でもある。

三宮・新神戸から六甲連山の山麓 高台に広がる町並みの中を 左に摩耶山など連なる山々を眺め、右手に海を遠望しながら、なだらかな坂をつないで東へ延びる大通り。そして、六甲下(六甲登山口)の十字路から、北へ神大キャンパスから鶴甲団地への急坂を登って六甲ケーブル駅横の油コブシ登山道に至る。

神戸の住人は誰も良く知っている道なのですが、考えてみると一気に三宮から六甲ケーブル駅まで歩いたことは一度もない。また、この高台は 縄文・弥生時代の時から数多くの人が住みつづいた地で、谷筋を降り、六甲の山を越えてゆく数多くの道があり、青山道・袖谷道・徳川道・寒天山道などの名前が残り、今もハイキング道として整備されている。



新神戸駅前 布引谷から生田川が流れ出る 空にはハブ園へ向かうゴンドラ 2013.3.17.

神戸高校前 校舎の東奥に摩耶山が見えている

新神戸から緩やかな坂道が神戸高校の前から下りとなり五毛神社前へ 2013.3.17.

新神戸から丘の上を走る野崎通りのバス道歩く 青谷周辺 2013.3.17.

雨が降ると激流となって流れ下る神戸の川の典型 摩耶山と長峰山との谷をまっすぐ流れ下り、すぐ下で 六甲川と合流して都賀川になる袖谷川 また、この周辺は縄文・弥生時代と早くから集落が開けた地である 2013.3.17.

五毛神社 2013.3.17.



ふりかえると坂道の速く向こうに海がありました 炭山橋周辺より 2013.3.17



こんな急斜面の谷筋に建ち並ぶマンション 中央にエスカレーターが延びている 2013.3.17



六甲ケーブル駅 2013.3.17



六甲ケーブル駅 2013.3.17



坂道を登り、建ち並ぶ老人ホームの横を抜けたところに油コシ登山道の入口がある



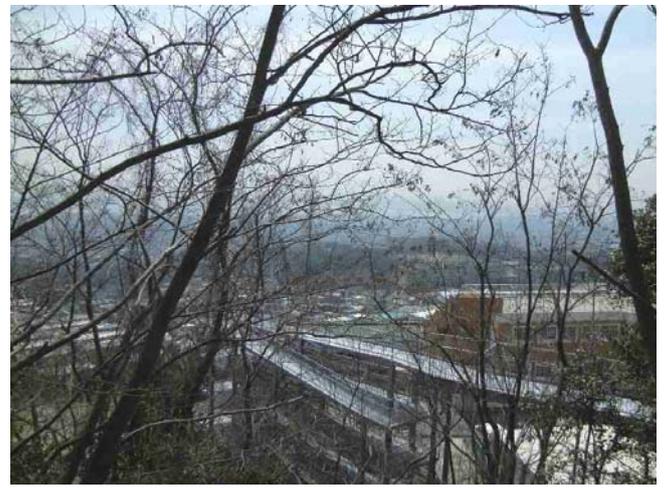
ケーブル駅前の六甲有料道路の横を降り抜け、右へ坂道を登ると油コシの登山道に至る 2013.3.17



● 六甲ケーブル駅→六甲山上
標高差 507m 沿道距離 2.6km



油コシ登山道を六甲山上へ





油こぶし山の南側テラス状広場から南側の眺め 2013.3.17.



油こぶし山の南側テラス状広場



油こぶし山の南側テラス状広場の北側 頂上への道



鉄塔を二つぐり、雑木林の中を更に登ると視界が開け、油こぶし山の下の広場に出る
登り続けてきたので、ほっと一息である 2013.3.17.



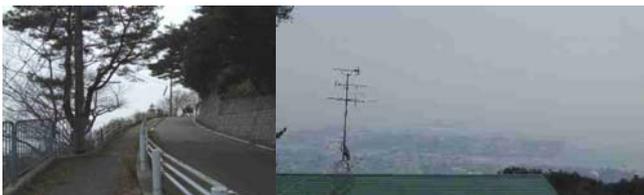
油こぶし山頂から北へ下ったところで、溝が藤からの奉天山道と合流 2013.3.17.



油こぶし山頂上は林の中 視界が開けない 2013.3.17.
ここまで来るともうキツイ登りはなく 六甲山頂はもうすぐである



樹間からは 六甲山頂の後縁が見え隠れ 頂上は近い 2013.3.17.



六甲山頂のドライブウェイへ ぱっと視界が開ける 2013.3.17.





六甲山上からの展望《2》 六甲アイランド 2013.3.17.

六甲山上からの展望《1》 ポートアイランド 2013.3.17.



寒天山道から眺める油こぶしの鉄塔 2013.3.17.

油こぶし登山道と寒天山道の分岐 2013.3.17.



寒天山道 渦が森登山口周辺 2013.3.17.

渦が森へ下る寒天山道で 2013.3.17.



寒天山道 渦が森登山口・住吉神社奥宮
2013.3.17.



谷を挟んで東側 住吉台 そして住吉谷の奥に住吉霊園が見えている 2013.3.17.

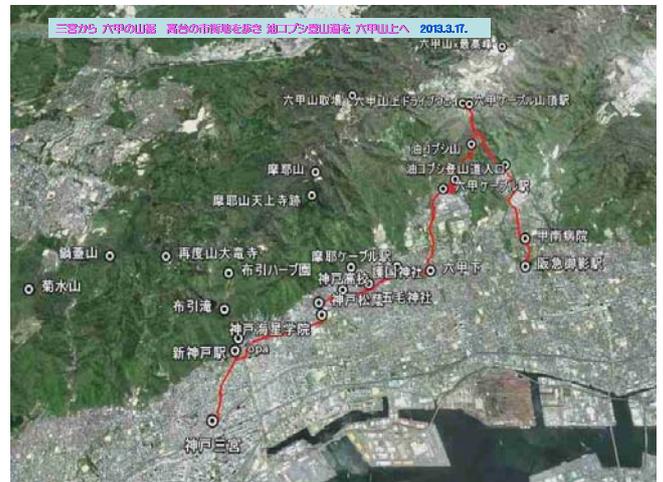


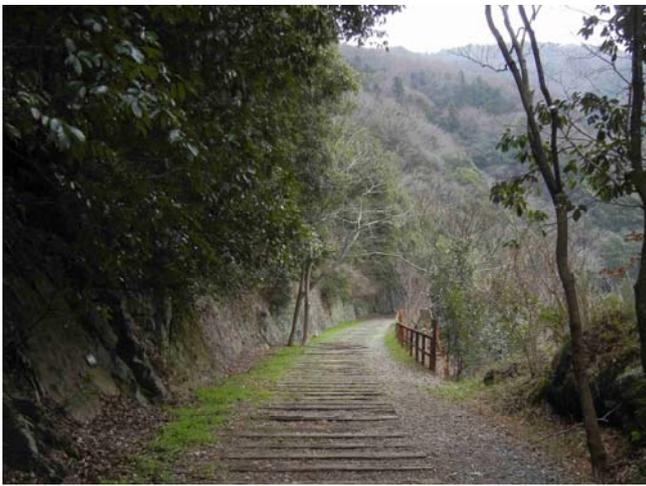
阪急御影駅 2013.3.17.
● 六甲山上→阪急御影駅
標高差 -707m 沿面距離 5.2km

神戸三ノ宮駅	標高	13m
六甲ケーブル駅	標高	246m
六甲山上	標高	753m
阪急御影駅	標高	46m
total沿面距離 14.9km 標高差 740m		



渦が森の登山口に降りましたが、まだ山の中腹 市街地のきつい急坂を阪急御影駅へ 2013.3.17.





福知山線 武庫川溪谷 廃線歩き武田尾入口 2013.3.23.



振り向いた上流 武田尾駅側の眺め 2013.3.23.



真鍮砂谷 スロー 桜はまだですが、武庫川溪谷の景色と流の音が心地と良い 2013.3.23.



武田尾側 一番目のトンネル 2013.3.23.
溪谷沿いに数ヶ所トンネルと鉄橋歩きがあり、ヘッドランプか懐中電灯が必要。
小さな子供たちとも数多く行き違いましたが、みんな手馴れたもので、懐中電灯を首からぶら下げました

